

ぐりーんぴーす
株式会社GreenPeace
平戸ファクトリー

所在地：長崎県平戸市

代表取締役社長：市山 宗

- イノシシによる農作物被害の拡大に伴う営農意欲の減退や、鳥獣対策の重要な役割を担う猟友会の高齢化が深刻な問題となる中、地域資源としての利活用に着目し、捕獲したイノシシの引き取り・利活用を事業化することを目指し、H29年6月から民設民営にて取組を開始。
- 猟友会と提携したイノシシの捕獲・引き取り、専門的な知識に基づく食肉処理加工、及びインターネット等を活用したジビエ肉の販売を通じて、農作物被害対策への貢献、高齢化する猟友会を支援するとともに、地域雇用を創出。

【主な取組】

○ 捕獲者との連携による捕獲

- ・ 平戸市の猟友会や鳥獣被害対策実施隊と協力し、イノシシ捕獲活動を実施しており、独自協力金の支払いや埋設処理負担の軽減により、捕獲意欲の向上にも貢献。
- ・ 捕獲後の引取り、下処理、加工、販売までを民間資金で行う6次産業モデルを構築。

○ 衛生管理と品質向上の取組

- ・ 国のガイドラインに従いながら、自社工場でカットから検査・保存まで一貫して実施。
- ・ 捕獲者に対して食肉処理に適した捕獲方法を指導するとともに、加工施設では独自衛生マニュアルを設け、定期検査を行うことで衛生管理や品質向上を図る。

○ ブランド化・商品開発と販路拡大

- ・ 「平戸いのしし」を地域ブランドとして確立し、百貨店やオンライン、飲食店向けの販売ルートを広げるとともに、加工品やカレー、ふるさと納税向けのセット商品など、多様な形で商品化。また、他地域や大手卸業者との連携により、ベーコンやパテ、ジャッキーといった新たな加工品も開発し、販路拡大を図る。
- ・ 同時に、ウェブサイトやSNS、専門誌、テレビ、地元・市外イベントなどを通じて、平戸ジビエの魅力や地域資源の有効活用を発信。ブランド認知と地域価値の向上を両立させる取組として、消費者へのPR活動も積極的に実施。



カットから検査・保存までを一貫して行う平戸ファクトリー



「平戸いのしし」の加工品



平戸ジビエの魅力を発信するイベント

【活動の成果】

市内のイノシシの処理・加工実績 0頭（H28）→631頭（R6・市外引き取り含むと857頭）